

[2020年度総会 第4号議案]

書式第14号(法第28条関係)

2020年度事業収支予算(案)

2020年 4月 1日から 2021年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	850,000		850,000
賛助会員受取会費	20,000		20,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	860,000		860,000
3 受取助成金等			
受取助成金			
4 事業収益			
公開セミナー・研究会開催 事業収益	1,000,000		1,000,000
地域福祉実践研修 事業収益	13,634,000		13,634,000
国内外地域福祉研究、成果公表 事業収益			
社会福祉教育振興 事業収益	2,665,000		2,665,000
情報提供 事業収益			
地域福祉出版 事業収益		500,000	500,000
地域福祉図書販売 事業収益		1,200,000	1,200,000
5 その他収益			
受取利息	200	100	300
雑収入			
経常収益計	19,029,200	1,700,100	20,729,300
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	2,149,739	82,481	2,232,220
臨時雇賃金			
人件費計	2,149,739	82,481	2,232,220
(2)その他経費			
諸謝金	2,950,000		2,950,000
旅費交通費	1,476,000		1,476,000
宿泊費	419,000		419,000
計画書等執筆料	500,000		500,000
テープ起し(議事録作成)	24,000		24,000
調査・分析費	1,950,000		1,950,000
飲食費(弁当代)	38,000		38,000
印刷製本費	260,000	1,775,000	2,035,000
通信運搬費	421,950	30,000	451,950
会場費	50,000		50,000
交際費	0		0
消耗品費	103,000		103,000
支払手数料	53,940		53,940
雑費	1,776,810		1,776,810
その他経費計	10,022,700	1,805,000	11,827,700
事業費計	12,172,439	1,887,481	14,059,920
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	504,000	56,000	560,000
人件費計	504,000	56,000	560,000
(2)その他経費			
法定福利費	27,000	3,000	30,000
旅費交通費	648,000	72,000	720,000
通信運搬費	18,000	2,000	20,000
地代家賃	3,018,600	335,400	3,354,000
水道光熱費	387,000	43,000	430,000
会議費	9,000	1,000	10,000
消耗品費	90,000	10,000	100,000
租税公課	135,000	15,000	150,000
新聞図書費	18,000	2,000	20,000
広告宣伝費	0	0	0
印刷経費	36,000	4,000	40,000
諸会費	225,000	25,000	250,000
支払リース料	720,000	80,000	800,000
支払手数料	9,000	1,000	10,000
管理諸費	27,000	3,000	30,000
備品費(2階会議室環境整備)	27,000	3,000	30,000
減価償却費	18,000	2,000	20,000
雑損失	4,500	500	5,000
雑費	18,000	2,000	20,000
その他経費計	5,435,100	603,900	6,039,000
管理費計	5,939,100	659,900	6,599,000
経常費用計	18,111,539	2,547,381	20,658,920
当期経常増減額	917,661	-847,281	70,380
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額			
税引前当期正味財産増減額	917,661	-847,281	70,380
法人税、住民税及び事業税		70,000	70,000
当期正味財産増減額	917,661	-917,281	380
前期繰越正味財産額			16,737,382
前期繰越正味財産調整額			0
次期繰越正味財産額			16,737,762

注:「地域福祉実践研修事業収益」の額は落札の状況によって変更の場合あり。
その場合には補正予算を組むことになります。